

舟車輪

平成20年 9月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

http://www.kaiwomaru.jp

第114号

退任のご挨拶



海事課主任 榊原 祐一郎

9月30日をもって財団を退職、航海訓練所に復帰することになりましたのでひと言ご挨拶申し上げます。この2年間の財団での勤務を振り返りますと、ボランティアの皆さんの海王丸への熱い思いと、海洋教室に参加した子どもたちの姿が印象に残っています。

海王丸の総帆展帆は、ボランティア活動の中心となる行事ですが、この総帆展帆に参加するためこれまでに700名を超える方々が、訓練を受け登録されたということに尊敬の念を抱きます。ボランティアの方それぞれに応募の動機は少しずつ違うかとは思いますが、海王丸ボランティアというチームとなって白いセイルを広げ、多くの人々に感動を与えているということは、なかなかできないことだと思います。ここだけの話ですが、私は高いところと犬が苦手です。高いところは仕事なので行きますが、これがボランティアであったら、、、と考えるとなかなか勇気が出ません。

海王丸を活用して、子どもたちに海と船と人について学び体験をさせる海洋教室という事業は、担当者の私が言うのも何ですが、とても素晴らしいものだと思います。海国日本・海洋立国日本とはいうものの、海運・船舶・船員の重要性を国民が理解し、また危機意識を持っているかということ、決して十分ではないと思います。海洋教室にやって来た子どもたちには、それを伝えることができます。わが国の将来を担う子どもたちに、海洋教室という機会を与えられる富山県は、他県出身の私にはうらやましく映ります。

私事ではありますが、この2年間は就職して初めての陸上勤務の機会でした。学生時代から乗っていた練習船に就職してぬくぬくと育ち、外の社会を知らなかった私にとって、財団への派遣はある意味初めての就職と同じような緊張がありました。たく

さんの失敗をしながらもこうしてご挨拶できるのも、海王丸と財団にかかわる方々のお陰と、心の中で手を合わせています。

また、富山の自然からはさまざまなことを学びました。富山の自然は裏切りません、いつも期待以上です。立山、黒部峡谷、五箇山などその景観は私の想像を越えていましたし、それらと人間にある歴史や文化がいまも大切にされていることに大変驚き興味深く思いました。あふれる自然とそこに生きる人々、私はそんな富山のファンになってしまいました。

趣味で始めた家庭菜園も、夏にはたくさんの野菜を実らせ、食卓をにぎやかにしてくれました。ニュースで食の安全に関することを聞かない日はないくらいでしたが、食品の生産に携わることの大変さを身をもって知りました。ボランティアさんや、船内清掃のみなさんに師匠となっていたいただきたくさんの方々に教えていただきました。ありがとうございました。

再来年は海王丸の公開20周年・建造80周年にあたります。海王丸が、こういった節目の年を何度も迎えることができるよう、海王丸ボランティアをはじめ県民の皆様に支えていただき、末永く保存・活用されることを願っております。

7・8・9月の行事結果

総帆展帆

海の日(7月21日)にふさわしい青空の下、セイルをひろげることができました。解帆作業の前には、海の日を記念して登檣礼を実施しました。パウスプリットの先端から、山形博英さんの「海の日、おめでとう!」の発声に続いて、登檣員のみなさんが「おめでとう!」を三唱すると、観客から拍手が起こりました。

天候 晴 参加人数 89名
展帆状態 総帆
スターボードタックスクエアーズ

8月3日は午後からの参加人数が少ないことと西風の強風のため、ミズンマストの

横帆を張らないという異例の展帆となりました。36度を超える猛暑の中、少ない人数でがんばりました。

天候 晴 参加人数 68名
展帆状態 ミン横帆を除く総帆(23枚)
ポートタック シャーフアップヤーズ

総帆展帆 (9月7日)は雨天のため中止となりました。



海の日(7/21)で賑わう海王丸パーク

平成20年度ボランティア表彰式

7月21日、恒例のボランティア表彰を行いました。これは、ボランティア活動を通じて海事思想の普及に多大の貢献をされた方に対する表彰で、今年度は11名の方々が受賞されました(受賞者のお名前は前号に掲載)。



表彰式では、岡邊海王丸船長からの挨拶に続き、受賞者に表彰状と記念品が手渡されました。受賞者の皆さんは、「ボランテ

ィアを続けられるのは、仲間の支え、家族の理解があるから」と受賞の感想を言葉にされていました。

みなさん、おめでとうございます!

10・11月の行事予定

総帆展帆

日時：平成20年10月12日(日)
10月26日(日)
11月2日(日)

午前10時～(受付は9時から)

場所：更衣；交流センター研修室
集合；海王丸第1教室

アンベンディングセイル

アンベンディングセイルとは、セイルを取り外すことです。今年使用したセイルをマストやヤードから下ろし、補修をして来年度に備えます。この作業にご協力いただけるボランティアを募集します。

日時：平成20年11月3日(祝)
11月4日(火)

08:30～17:00頃

場所：更衣；訓練生居住区(男性)
後部乗組員居住区(女性)
集合；第一教室

同封のハガキにて出欠連絡をお願いします

イベント案内

秋のファミリーフェスティバル

家族が一緒になって楽しむことのできるイベントを開催します。

日時：平成20年10月11日(土)～13日(祝)

10:00～16:00

- ・ミニ遊園地
- ・親子工作教室
- ・フリーマーケット
- ・総帆展帆(10/12)
- ・カッター教室(次頁をご覧ください)

カッター・セイリング教室

海に漕ぎ出し、爽やかな風とセイリングを楽しんでみませんか？

日時：平成20年10月11日（土）
10月13日（祝）

午前の部 09:00～11:50

午後の部 13:00～15:50

お問い合わせは海事課まで

探鳥会

日時：平成20年11月9日（日）
08:30～10:30

場所：臨海野鳥園（海王丸パーク内）

内容：バードマスターによる解説を聞きながら観察できます。

お知らせ

ボランティア応募要件が変わりました

財団では、青少年の海王丸ボランティアへの参加を一層推進するため、ボランティアの応募要件を「18歳以上」から

「満15歳以上」

に改正しました。

高校生の皆さん！小学生の時、海王丸で体験した海洋教室以上の楽しさと爽快感がボランティア活動にはあります。興味のある人は、友達も誘って応募しよう！

ボランティアの皆さん！ご家族・ご親戚・ご近所に“適齢期”の方はいらっしゃいませんか？皆さんが体験している帆船のすばらしさと、多くの仲間との交流を若い世代にも伝えてください。

新規ボランティア養成訓練

海王丸ボランティアになってみませんか？総帆展帆やセイル作製の他、楽しい活動や交流があります。

平成20年10月4・5日（土・日）

訓練参加には、お申し込みが必要です。
お問い合わせは当財団海事課まで。

感謝状をいただきました

7月23日、アフリカへ毛布を送る運動推進委員会から感謝状をいただきました。これは、海王丸海洋教室の宿泊用に使用

した古い毛布を提供したことに対するもので、明るい社会づくり推進協議会の五十里氏から成田常務理事に感謝状が手渡されました。感謝状は海王丸の船長室前に掲示しました。

今後も継続してこの活動に参加していきたいと思っております。

海王丸の一般公開休止について

船体整備のため、次の期間中は海王丸の一般公開を休止します。

平成20年11月3日（祝）～28日（金）

投稿コーナー

カッター巡航

- 小さな帆船の航跡 - ①
海事課 榊原 祐一郎

ここでは瀬戸内海コースの夏巡航を取り上げたいと思います。神戸・深江を出艇したカッターは2艇、それぞれに12～13人を乗せていました。夏の盛りのことなので、風はあまり吹きません。動力は「人」。主計と運用の2個班で交代しながらひたすら漕ぎます。カセットテープにはやりの曲をダビングして艇上でかけるのですが、誰が入れたのかTHE BOOMの「風になりたい」、この曲が流れるたびに何故か風がやみ、いまでもこの曲を聴くと、あの夏の暑さを思い出します。港内から大阪湾に出て針路を西へと定めるのですが、いつまで経ってもポンドの前にそびえ立つ東神戸大橋の姿が遠ざかりません。当時建設中だった神戸空港の作業船のおじさんが、あわれに思ったのかペットボトルのジュースを差し入れてくれたこともありました。

明石海峡の手前の須磨で、潮待ちをします。瀬戸内海のように潮流のはっきりしている海面では「風に乗るよりむしろ潮に乗れ」といわれるためです。潮時・潮流を調べ、逆算して出艇の時刻を決めます。出艇までの間、主計は買い出しを、運用は水汲みとワッチ（停泊当直）を行います。また、NHKラジオの気象通報を受信して、天気図を作成しました。出艇して潮に乗ったカッターは5～6ノットで走り（正しくは流され）あつという間に明石海峡を通過します。まだつながっていなかった明石海峡大橋の下をくぐる時、みんなで上を向いて「オーッ」を歓声を上げたり、届くはずもないのに手を伸ばしたものです。

播磨灘に入り、上島・鞍掛島を過ぎると家島が見えてきます。家島は、姫路市の沖合に浮かぶ40余の島々「家島諸島」の中心となる島です。万葉集の遣新羅使人・帰路の歌にも詠まれ、いにしへの旅人も立ち

寄ったことがうかがえます。前日からの夜航海の疲れをとり、また潮待ちのため家島の漁港で1泊しました。泊まるといっても持ってきた毛布にくるまり、救命胴衣を枕に岸壁で野宿。雨の日はカッターにオースリング(天幕)を張った艇上で雑魚寝です。どちらにしても屋外なので蚊取り線香に燻されながら寝るこずになります。漁港に入るとの利点があります。漁協の氷はとんでもないので200円くらいで大きなクーラーボックスからあふれるほどの氷を手に入れることができます。お茶や食料を冷やすのになくしてはならないものなので、大変助かりました。

家島を出ると珍しく風に恵まれたのでセイルを広げ、下級生に帆走の技術や船位決定法などを教えながら小豆島・福田に入りましました。ここは本州とを結ぶフェリーの乗り場があるところでお土産物屋さんもあります。近所に優しい方がいらして、自宅の浴室を貸してくれたこともありましました。次の港は、小豆島・土庄でした。土庄はこの巡航での一番西に位置する寄港地、つまり折り返し地点です。前年は日程都合分たて福田までしか行けず、この年には「自力で土庄まで、土庄にある二十四の瞳の銅像を見てやるう」を合い言葉にしていたので、感慨深いものがありました。

ここ土庄付近にはお薦めの名所が2つあります。1つ目は土淵海峡です。これは土庄と土淵の間を流れる全長2.5キロの海峡で、なんと一番狭いところは、幅9.93メートル。平成8年に世界で一番狭い海峡としてギネスブックの認定を受けたそうです。カッターでこの海峡を通ったのですが、海峡上には橋が3つかかっているためマストを倒して通峡します。海峡を漕いで進むと、オールが岸壁に触れそうになる場面もありました。ちなみにこれらの橋を渡ると、海峡横にある土庄町役場で横断証明書(1枚100円)も発行してくれます。

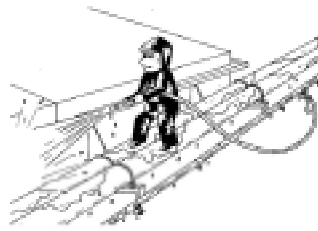
土淵海峡を抜けると2つ目の名所、小豆島が見えてきます。さつきから小豆島の話をしているじゃないの、と思われ方もいるかと思いますが、この小豆島は「あずきしま」と読みます。周囲45mの小豆のよすうに小さな島。ウソのような本当の話です。

再びマストを立てて航海を続けるのですが、小豆島の南東端・大角鼻を越えると強い東よりの風が吹き始め、なかなか私たちを神戸に帰してはくれません。一旦北上し、姫路や明石の漁港を転々としながら神戸・深江のポンドまで戻ってきました。

偉大な先輩や頼もしい後輩たちは、巡航で尾道や高松まで行ったようです。私たちが頃は遠いところまで行けませんでした。真夏のカッター巡航は「暑くて熱い」思い出です。(完)

危険予知トレーニングvol.28

113号vol.27の答え



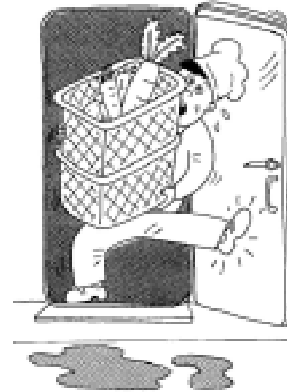
航海中、甲板洗いをしている。

《状況》航海中、甲板洗いをしている。

1. 濡れたパイプの上から滑り落ちて、転倒する。
2. カッパのズボンの裾を踏み、バランスを失って転倒する。

3. 水圧が強くてホースが暴れ、ホースにたたかれ怪我をする。

次のイラストにはどんな危険がひそんでいるでしょうか？考えてみましょう。



両手でかまぼけの洗いを始め、サセシバーから跳ぶようにしている。

答えは次号で！
(船員災害防止協会刊：商船KYTイラストシート集から抜粋)

終わりに



写真中央のこどもは私の息子ではなくて、私です。

昭和54年10月、愛知県衣浦港での1コマです。後の帆船は、我等が初代海王丸、勿論現役の頃の勇姿です。両脇を固めているのは商船高専のお兄さんのようです。一般公開中なのでしょ、雨上

がりの岸壁や船上にはたくさんの方が列になっています。このとき海王丸を見て、「大きくなったら船乗りになるんだ！」と思ったかどうかは分かりませんが、思うことも一人でも多くこの富山から出てくれることを願ってやみません。

それではみなさん、ごきげんよう！(さ)